

# 立ち漕ぎサーフを体験

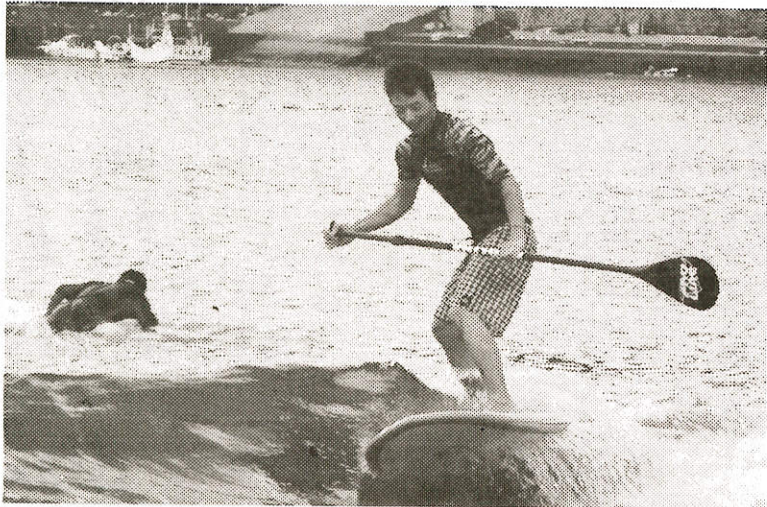
## 新鹿海水浴 元バレー朝日さんも挑戦 場で講習会

ボード上に立ち、パドルと呼ばれる櫂(かい)をこいで進む「スタンドアップパドル」の体験会が二十二日、熊野市新鹿町の新鹿海水浴場で開かれた。



河合さん指導のもとパドルサーフィンのコツを教わる委員

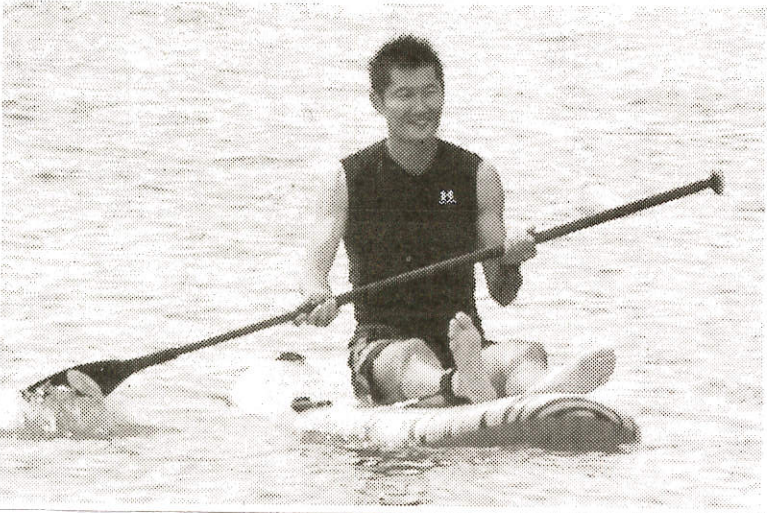
同海水浴場の魅力向上を目的に各種マリンスポーツを推進する熊野マリンスポーツ推進委員会(池田宣政会



新鹿海水浴場でうまく波に乗り

長)が企画。委員七人が参加した。スタンドアップパドル・サーフィンは、ハワイ生まれの新しい水上スポーツ。サーフボードの上に立ったまま乗り、オールを使ってパドルするもので、ウォータースポーツの一つ。浮力があるため、ロングボードで乗れないような波にも乗れ、波がないときもボードに乗ってパドルするカヌー感覚も楽しめるという。

講師の河合辰巳さんと交流がある元バレーボールオリンピック代表で元プロビーチバレーボール選手の朝日健太郎さんも訪れた。河合さんはあいさつで「普段は波がないのでパドル・サーフィンに適している」と同海水浴場の印象を語り、パドルなどの操作方法を指導した。



朝日さんも新鹿の海をボードで満喫

さらには、「ボードに乗ったら正座をしてオールを漕ぎながら立ってほしい」とアドバイス。続いて、委員らがボードを持ち海へと入った。河合さんによると、このスポーツは初心者でも簡単に操作できることが魅力で、委員らもわずか数分で立ったままオールを漕ぎ、パドル・サーフィンを満喫していた。

市ではすでにパドル・サーフィンを五艇購入しており、今後貸出も進めるといふ。

話題・行事等は  
南紀新報社へ  
TEL(85)2510  
FAX(89)1965